

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	01-01-10		戦略プラン	●協働 ○業務 ○財務 ○人事				
事務事業名	特別区全国連携プロジェクト		部課名	総務企画部総務企画課	課長名	矢代		
			担当者名	高村	内線	2211		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-02-07	特別区全国連携プロジェクト						
事務事業の種類	○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業 ●それ以外の継続事業					
開始年度	○昭和 ●平成	26年度	根拠					
終期設定	○有 ●無	年度	法令等					
実施基準	○法令基準内 ●都基準内 ○区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進					
目的	全国各地域との信頼関係をさらに強化し、連携を深めていくことで、東京を含む全国各地域が、自らの特徴を活かし、生き活きとした街づくりを進め、共に発展・成長し、共存共栄を図る。							
対象者等	全国各地域の連携自治体、区民							
内容	<p>1 特別区全国連携プロジェクトについて（「特別区全国連携プロジェクト推進方針（29年3月制定）」から）</p> <p>（1）具体的な目標</p> <p>①共存共栄による日本の元気創造 ②相互補完による地域課題の克服 ③信頼関係・絆の強化</p> <p>（2）プロジェクト推進の基盤強化に向けた取組（主なもの）</p> <p>①広域的な連携を推進するための連絡組織の設置・運営（29年度～）</p> <p>②自治体連携を推進する多様な主体との協働プラットフォームの構築</p> <p>2 荒川区における連携自治体数（35自治体/30年4月1日現在）</p> <p>3 荒川区における主な連携事業（30年4月1日現在）</p> <p>①釧路マルシェ（北海道・釧路!旬!!秋の味覚市）②秋田竿燈まつり ③あらかわ遊園「雪で遊ぼう」</p> <p>④日暮里 春・秋まつり～交流都市フェア～ ⑤区民ツアー ⑥尾久の原シダレザクラ祭り</p>							
経過	<p>○特別区全国連携プロジェクトの経過（主なもの）</p> <p>平成26年9月 全国連携プロジェクト開始 ※同時期に、国が「まち・ひと・しごと創生本部」設置</p> <p>平成27年度 ・「雪の活用提案(岩手県)」(5月)→荒川区、江東区、品川区が参加</p> <p>・「東北六魂祭(5月)」協力連携開始（以降毎年協力連携を実施）</p> <p>平成28年度 ・5地域7団体と広域連携協定、特別区全国連携プロジェクト推進方針の策定</p> <p>平成29年度 ・「中間のまとめ」策定、1地域1団体と広域連携協定</p> <p>○荒川区の経過（主なもの）</p> <p>平成26年度 交流都市へ特別区全国連携プロジェクトへの協力依頼</p> <p>平成27年度 雪で遊ぼう（北上市、西和賀町）、釧路マルシェ（釧路8自治体）の実施（毎年実施）</p> <p>平成28年度 地方創生推進交付金実施計画申請及び承認（釧路8自治体、秋田市等）（毎年実施）</p> <p>平成29年度 秋田竿燈まつりinあらかわ（秋田市）実施（毎年実施）</p>							
必要性	全国各地域との連携を広域連携事業として実施することで、将来的に、荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できる。							
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 事業実施に係る補助金交付申請を受け、事業計画及び予算等を審査し執行を委任する。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	連携自治体数	26	30	35			冠事業として、全国連携プロジェクト関連自治体と交流した数
	②	釧路マルシェによる釧路地域への関心度	36.0%	42.0%	86.5%		90.0%	H29年度設問設定変更（3択複数回答→2択回答へ変更）
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
推進	推進	荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できるため、優先度は高い。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
予算額						-	11,000	12,358	14,026
決算額(30年度は見込み)					-	-	7,179	11,519	14,026
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
予算・決算の内訳									
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	
旅費	旅費	126	旅費	旅費	106	旅費	旅費	600	
需用費	消耗品費	1,566	需用費	消耗品費	765	需用費	消耗品費	940	
委託費	その他の委託料	5,487	委託料	その他の委託料	10,649	委託料	その他の委託料	12,486	

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		4,313	5,247	934		地方税		0	0	0
物件費		7,179	11,519	4,340	国庫支出金		5,996	4,672	▲1,324		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		1,000	2,000	1,000		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		6,996	6,672	▲324		
賞与・退職給与引当金繰入額		284	985	701	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲4,780	▲11,079	▲6,299		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		11,776	17,751	5,975	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲4,780	▲11,079	▲6,299		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲4,780	▲11,079	▲6,299		

備考 物件費の主な増額理由は、29年度より実施している秋田竿燈まつりの公演及び会場設営等に係る委託費4,400千円である。

問題点・課題 ○特別区長会や他区と協力連携し、広域連携としての全国連携プロジェクトの方向性・具体的事業の検討が必要である。
○現在、区の連携事業において、「イベント」や「物品販売」等、一過性の連携に偏っており、プロジェクトの目的に照らし、その後の継続的、持続的な連携への仕組みづくりを検討する必要がある。
○区民が、全国連携事業の必要性やその効果に興味を示し、自身の行動変容に繋がるような連携事業をさらに検討していく。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	全国各地域と区が共存共栄できる連携事業を継続して実施する。	新たに秋田市との連携事業「秋田竿燈まつり」を開催するとともに、昨年に続き釧路マルシェを実施した。	引続き、全国各地域と区が共存共栄できる連携事業を継続して実施する。
②	引続き、特別区長会、他区と連携し、推進基盤強化に向けた方向性の確立に取り組む。	特別区長会、他区と連携し、推進基盤強化に向けた整備検討分科会により検討を行った。	特別区長会とりまとめの「全国連携プロジェクト中間まとめ」に沿い、引続き区長会主導のもと、広域連携の推進に取り組む。
③	イベントや物販のみでなく、継続的な連携への仕組みづくりについて検討する。	継続的な仕組みづくりのため、釧路地域の自治体と連携し、区役所食堂で釧路の旬の食材を使用したメニューを提供した。	引続き、イベントや物販のみでなく、継続的な連携への仕組みづくりについて検討する。

他区の実況	(実施)	22	区	未実施	0	区	不明	0	区)
	議(会)質(問)状	○平成27年度2月会議 平成28年度開催予定の「釧路マルシェin日暮里」の釧路地域十自治体について 平成27年度開催「釧路マルシェin日暮里」の反響について ○平成28年度9月会議 連携の拡充について ○平成29年1月27日観光・文化観光・文化推進調査特別委員会 ○平成28年度2月会議 全国連携プロジェクト年間スケジュールの作成について							

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-03	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	国内都市交流事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井		
		担当者名	池内	内線	2524		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-02-01 国内都市交流事業						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度） <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業						
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	56年度	根拠	荒川区自然体験を通じた青少年健全育成活動事業補助金交付要綱			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進				
目的	生活環境や地域文化の異なる地域の人々との交流を深めることにより、区民に豊かな自然とのふれあいの場を提供し、区民の心の豊かさと相互の都市の活性化を図る。平成17年11月に策定した「荒川区都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、国内の都市との交流を積極的に推進することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現をめざす。						
対象者等	区民						
内容	H29年度の主な交流事業（★：荒川区でのイベント） ★川の手荒川まつり出展：26自治体 ★交流都市フェア出展：12自治体 ★表敬訪問：4自治体 ☆国内都市交流ツアー：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（出演）：1団体 ○その他：4自治体 H30年度の主な交流事業（予定） ★川の手荒川まつり出展：27自治体 ★交流都市フェア出展：12自治体 ★表敬訪問：4自治体 ☆国内都市交流ツアー：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）：3自治体 ☆交流都市のイベント参加（出演）：2団体 ○その他：4自治体						
経過	※H30.4.1時点で29都市、交流開始順に記載、（）内は提携・協定締結年度 秩父市（旧荒川村）：S56姉妹提携、H7防災協定・21再調印、北杜市（旧高根町）：S58、大多喜町：S60（H7友好都市提携・防災協定）、鴨川市：S62（H3友好都市提携・H7防災協定）、上越市（旧吉川町）：S62（H7防災協定）、福島市：H6（H28.2友好都市協定、H18防災協定）、桑折町：H6（H23防災協定）、石川町：H6（H8防災協定）、村上市（旧荒川町）：H8、釜石市：H9（H11防災協定）、射水市（旧下村）：H11（H26防災協定）、鮭川村：H15（H24防災協定）、三条市：H15、福井県：H16、潮来市：H16、つがる市：H16、二本松市（旧東和町）：H17、小野町：H17、つくば市：H18（H20.5友好都市提携、H24防災協定）、津南町：H19、大垣市：H19（H23防災協定）、米沢市：H20（産業連携協定締結）、広尾町：H21、成田市：H22、印西市：H22、南アルプス市：H24、佐渡市：H26、真室川町：H27、みなべ町：H27						
必要性	国内の都市との交流を積極的に推進し、荒川区の魅力と活力を高めることにより、より豊かな区民生活の実現が期待できる。						
実施方法	（一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 国内都市交流ツアーの一部を委託						
指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値（38年度）	
	① 国内交流都市ツアー参加者数	0	98	91	150	150	
	② あらかわキャラバン派遣団体数	3	3	1	2	4	
③ 日暮里駅前イベント広場・交流都市フェア開催数	3	3	3	2	4		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高めていく。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		9,832	1,471	1,272	1,976	11,280	11,212	12,353
決算額(30年度は見込み)		9,741	1,194	1,155	1,612	7,695	6,613	12,353
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	交流都市数	26	26	28	29	29	29	29
	交流都市ツアー応募者数					429	240	300
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	まつり・キャラバン出展謝礼	483	報償費	まつり・キャラバン出展謝礼	329	報償費	まつり・キャラバン出展謝礼	543
旅費	交流都市事業等出張旅費	227	旅費	交流都市事業等出張旅費	336	旅費	交流都市事業等出張旅費	561
需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	642	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	349	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	1,056
役務費	キャラバン派遣団体交通費	284	役務費	キャラバン派遣団体交通費	3	役務費	キャラバン派遣団体交通費	645
委託料	交流都市フェア会場設営等	5,035	委託料	交流都市フェア会場設営等	4,813	委託料	交流都市フェア会場設営等	7,448
使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代	396	使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代	149	使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代等	770
負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	629	負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	634	負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	1,330

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		5,856	11,066	5,210		地方税		0	0	0
物件費		6,578	5,647	▲931	国庫支出金		2,418	2,818	400		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		1,118	966	▲152	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		2,418	2,818	400		
賞与・退職給与引当金繰入額		335	2,750	2,415	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲11,469	▲17,611	▲6,142		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		13,887	20,429	6,542	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲11,469	▲17,611	▲6,142		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲11,469	▲17,611	▲6,142		

備考 行政費用では委託費として、物件費に多くかかっている。主な内訳としては、交流都市フェア会場設営委託に3,812千円、国内交流都市ツアー委託に744千円がかかっている。

問題点・課題 ①国内交流都市ツアーについては、訪問する都市のとの調整や、価格の設定等その都度検討を行う必要がある。
②区民にとって交流都市が身近になるよう交流事業の内容を検討するとともに、交流の状況を区民に広報していく必要がある。

問題点・課題の改善策									
	平成29年度に取り組む具体的な改善内容			平成29年度に実施した改善内容および評価			平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容		
①	防災協定の結んでいる交流都市と事業が実施できるよう検討していく。			田植え・いも苗等の体験ツアーを実施した茨城県潮来市とは、防災課が関連部署と今後協力できないか検討している。			友好都市提携から10周年を迎える茨城県つくば市との周年事業を相互に開催し、つくば市との関係を強化する。		
②	地元住民との交流や、交流都市職員による説明等、区主催のツアーならではの内容を盛り込めるよう努力する。			今年度実施した3都市の区民ツアー全てにおいて、交流都市の協力を得ることができた。			過去の価格設定と参加者の相関を参考に、適正かつ区民に魅力ある価格でのツアーの企画をしていく。		
③	交流都市との連携事業について、周知・広報できるよう検討していく。			荒川ケーブルテレビが潮来市田植え・いも苗植え体験ツアーやつくば市での俳句ハイクに同行して、その模様を放送した。			他課と国内交流都市との交流の実績を把握し、より細やかな交流ができるよう努力する。		
他区の実況	(実施	22	区	未実施	0	区	不明	0	区)
議(会)質(問)状	平成28年度9月会議 平成28年度決特			区民が農業・森林整備等の体験ができる交流事業について 自然体験事業の必要性について					

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-01-04		戦略プラン		●協働 ○業務 ○財務 ○人事		
事務事業名		国際交流協会補助		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井	
				担当者名	安藤	内線	2524	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-03-01 国際交流協会補助						
事務事業の種類		○新規事業（○30年度 ○29年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成	5年度		根拠	荒川区国際交流協会補助金交付要綱			
終期設定	○有 ●無	年度		法令等	設立趣意書			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分					○計画 ●非計画
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進					
目的	区民の国際交流活動の拠点として、国際交流事業を推進し、外国都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。（協会会則第3条）							
対象者等	荒川区国際交流協会 設立 平成5年10月21日 組織 理事15人、事務局8人（区職員兼務）、監事2人 会員 賛助会員（211名）、協力会員（359人） ※平成30年4月1日現在							
内容	≪荒川区国際交流協会の主な事業≫ ※（）内は開始年度 ○在住外国人支援事業 日本語教室（13年度：5～12年度では区事業）…年間132回（66回×2コース） ○国際理解・啓発事業 日本語サロン（10年度）…週1回×2コース、外国人おもてなし講座（27年度）、世界の料理教室（24年度）、広報宣伝活動…協会便り（年1回発行）事務局便り（月1回発行）、ライフサポートニュース（年1回発行） ○区民相互の交流事業 川の手荒川まつり出展、日本語スピーチ大会（7年度）、外国人のための防災講座、国際交流バスハイク（6年度）、茶道教室（13年度）、華道教室（23年度） ○世界の国々との交流事業 ウィーン市ドナウシュタット区との交流事業、外国からのインターン大学生受入（17年度）、日澳親善コンサート（26年度）、済州青少年国際フォーラムへの高校生派遣（26年度）							
経過	自主財源率（会費及び事業収入等）の推移 12年度までは総収入の15%程度、15年度以降は45%（補助金減、賛助会員や受益者負担の増による） 17年度は済州市、大連市中山区との友好都市提携に伴う、区補助金増のため38%となり、以後18年度41.8%、19年度37.2%、20年度32.7%、21年度36.7%、22年度37.6%、23年度31.7%、24年度37.7%、25年度は40.4%、26年度は36.7%、27年度は45.0%、28年度は43.94%である。							
必要性	交流都市との交流事業や在住外国人への支援、交流を推進し、区民の国際理解を深めるとともに、多文化共生の地域社会を実現するため、協会への支援は必要である。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 協会の派遣依頼により、地域文化スポーツ部長は事務局長、課長は事務局次長、都市交流係員は事務局員を兼職。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値（38年度）
	①	協力会員・賛助会員数	733	699	524	530	670	個人+団体数 ※28年度中に協会員登録精査
	②	協会事業参加者数	4,022	4,569	4,500	4520	4,700	日本語教室等は延べ人数
③	通訳ボランティア養成講座数	3	2	2	2	4		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として重点的に支援することが必要である。						

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		6,147	6,147	6,147	6,147	6,636	6,636	6,636
決算額(30年度は見込み)		4,636	4,005	5,727	4,532	4,925	4,274	6,636
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	協力会員(人数)	584	581	501	525	536	336	350
	賛助会員(件数：団体+個人)	115	114	114	208	163	188	190
	補助金の協会事業に占める割合(%)	62.3	59.5	63.3	55.0	56.1	55.0	55.0
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	国際交流協会補助	4,925	負担金補助等	国際交流協会補助	4,274	負担金補助等	国際交流協会補助	6,636

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		8,108	8,097	▲11		地方税			0	0
物件費		0	0	0	国庫支出金			0	0	0	
維持補修費		0	0	0	都支出金			0	0	0	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金			0	0	0	
補助費等		4,925	4,274	▲651	使用料及び手数料			0	0	0	
減価償却費		0	0	0	その他			0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)			0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額		464	2,012	1,548	行政収支差額(a)-(b)=(c)			▲13,497	▲14,383	▲886	
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)			0	0	0	
行政費用合計(b)		13,497	14,383	886	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲13,497	▲14,383	▲886	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲13,497	▲14,383	▲886	

備考 行政費用では、補助費等が多くかかっている。内訳は荒川区国際交流協会への補助である。

問題点・課題

・海外交流都市への高校生派遣事業等への参加申込者数を増やすため、中学3年生へチラシを配布するなど、事業PRを強化する必要がある。
 ・外国人住民の増加に伴い、日本語教室や日本語サロンへの参加者数が増加している。これらの教室・サロンの運営を支えるボランティアを増やし、教室・サロン間での情報共有や連携を深める必要がある。
 ・協力会員のうち、近年ボランティア活動から遠ざかっている会員がいるため、再活動に向けた働きかけを行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	事業の周知やボランティア活動に関する情報提供のため、ホームページやSNSを活用する。	海外交流都市への高校生派遣事業の参加者を増やすべく、チラシを作成し区内の中学3年生へ配布した。	国際交流協会設立25周年を機にPRを強化する。また、日唄修好150周年を翌年に控え、記念事業が行えるよう備える。
②	ボランティアミーティングの開催や既存ボランティアへの協会活動の呼びかけを継続するなど、活動のフォローを行う。	活動休止中の登録ボランティアへの呼びかけを行ったほか、年度末に、日本語ボランティアによるミーティングを開催した。	協会主催事業や事務局だよりなどでの周知により、日本語教室・サロンでのボランティアの確保を行う。
③			

他区の実況	(実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区)
国際交流設置自治体※東京都国際交流委員会HPより	
況議(会質問状)	

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-01-05		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事			
事務事業名	海外都市交流事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井	
			担当者名	安藤	内線	2524	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-03-02	海外都市交流事業					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度）			<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度	根拠	友好都市提携協定		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等	国際化推進員設置要綱		
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準			計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進				
目的	海外都市に対する区民の関心を高めることにより、世界に開かれたまちとしての荒川区の魅力や活力を高めるとともに、産業交流等により区内の優れた技術や製品を広くアピールする。（荒川区都市間交流に関する取り組み指針[平成17年11月策定]）						
対象者等	・ドナウシュタット区(オーストリア共和国ウィーン市)…平成8年10月21日提携(荒川公園に桜を植樹) ・済州市(韓国済州特別自治道)…平成18年2月17日提携 ・中山区(中国大連市)…平成18年3月10日提携						
内容	海外友好都市等との都市間交流、連絡、調整及び相互訪問等 <ドナウシュタット区>高校生相互派遣(受入:6年度～、派遣:9年度～)(国際交流協会主管) ウィーン大学生の荒川区での研修受入、ドナウ会クリスマス会 <済州市>区民ツアー、ドルブル祭への参加 済州島青少年国際フォーラムへの高校生派遣(国際交流協会主管) 済州市老人会の訪問受入(民間交流) <中山区>区民ツアー(国際交流協会主管) 産業交流(日暮里ファッションショー)						
経過	[ドナウシュタット区]13年度 提携5周年記念荒川展(ドナウシュタット区)、ドナウ通り・広場(南千住) 18年度、23年度、28年度 区民ツアー(協会事業) 20年度 両区訪問団相互訪問、26年度 ラルゴ・フットボールクラブ親善試合(民間交流) 28年度 提携20周年記念 ウィーン荒川展(伝統工芸展)開催 東京荒川少年少女合唱隊のウィーンにおける演奏活動(民間交流) [済州市] 17年度 市制施行50周年記念式典に荒川区議会副議長他出席、両区・市長相互訪問 18年度、22年度、28年度区民ツアー(協会事業)※22年度はフラダンス団体派遣(民間交流) 19年度 市職員研修生受入(～24年度)、ドルブルへ代表団派遣(～22年度、24・26～29年度) 23年度 友好交流5周年事業、28年度 友好交流10周年事業(少年サッカー親善試合等) [中山区] 17年度 両区長の相互訪問、9年・18年・22年度 区民ツアー(協会事業)、21年度 職員派遣 29年度 アカシア祭訪問						
必要性	荒川区を世界に開かれたまちとして、産業・観光・芸術文化・スポーツなどの広範な分野にわたる交流を深めていく必要がある。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員)						
交流事業は荒川区国際交流協会が実施している。							
指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	① 訪問回数	6	11	4	3	10	荒川区⇒海外都市
	② 受入回数	12	7	11	4	7	海外都市⇒荒川区
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度	31年度						
重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業であり、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		9,847	10,417	12,552	13,459	40,741	14,225	14,502
決算額(30年度は見込み)		9,479	8,581	11,692	13,292	33,162	13,430	14,502
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	海外出張旅費支出人数	2	1	6	12	27	10	8
	海外受入・訪問団体数	11	9	10	14	18	15	10
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	国際交流推進員報酬	10,120	報酬	国際交流推進員報酬	10,132	報酬	国際交流推進員報酬	9,912
共済費	国際交流推進員社会保障費	1,458	共済費	国際交流推進員社会保障費	1,502	共済費	国際交流推進員社会保障費	1,434
旅費	交流都市訪問等	5,300	旅費	交流都市訪問等	1,621	旅費	交流都市訪問等	2,299
需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	642	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	124	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	616
役務費	交流都市訪問時入出国税等	135	役務費	交流都市訪問時入出国税等	23	役務費	交流都市訪問時入出国税等	181
委託料	ウィーン荒川展委託	8,589	使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	29	使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	60
負担金等	民間団体等に対する国際交流補助金	6,671						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
物件費	14,863	1,796	▲ 13,067	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	6,721	0	▲ 6,721	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	474	1,788	1,314	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 41,925	▲ 22,415	19,510	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	41,925	22,415	▲ 19,510	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 41,925	▲ 22,415	19,510	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 41,925	▲ 22,415	19,510	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。主な内訳としては、ウィーン市ドナウシュタット区への高校生派遣旅費に854千円がかかっている。29年度は、28年度にウィーン市ドナウシュタット区との20周年事業、済州市との10周年事業を実施したことから、物件費及び補助費等が減少した。

問題点・課題 友好交流都市であるウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連市中山区との交流について、広く区民に交流意義及び交流実績をPRしながら継続的な交流しつつ、民間主体の交流が広がるよう団体等を支援していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	民間交流発展のため、必要に応じ民間交流補助(荒川区国際交流協会補助)の支援・周知を行う。	ゆいの森や区役所正面玄関で29年度の民間交流事業(東京荒川少年少女合唱隊のウィーン公演)について、展示しPRを行った。	区立中学校や区内関連事業等を通し、チラシや講座等を周知し、さらに海外交流都市との交流事業のPRを行う。
②	平成28年度中に実施した記念事業や、これまでの交流実績を広く区民にPRし、今後も継続的な交流を行う。	ゆいの森や区役所正面玄関ホール等で交流について、写真やパネル等を展示しPRを行った。	大連市中山区について、小学生の文化交流に主眼を置いた事業を実施する。
③			

他区の実況	(実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区)
姉妹・友好都市提携状況	
議会議決要旨	平成28年度9月 済州市・大連市中山区との継続的な交流推進について 平成28年度決特 国際交流の現状と今後について(文化団体の交流事業) 平成28年度11月 国際交流の推進について